

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第56期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社ムロコーポレーション
【英訳名】	MURO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 室 義一郎
【本店の所在の場所】	東京都世田谷区上野毛一丁目4番10号
【電話番号】	03(3703)4121
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 室 雅文
【最寄りの連絡場所】	東京都世田谷区上野毛一丁目4番10号
【電話番号】	03(3703)4121
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 室 雅文
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第2四半期 連結累計期間	第56期 第2四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	6,904,334	7,849,555	15,002,613
経常利益(千円)	462,269	546,333	1,301,386
四半期(当期)純利益(千円)	269,302	337,548	737,046
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	261,687	326,747	722,699
純資産額(千円)	8,048,299	8,710,461	8,509,312
総資産額(千円)	14,429,700	15,465,151	16,143,801
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	43.53	54.56	119.14
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	55.8	56.3	52.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	47,033	556,139	1,778,819
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	446,596	569,168	784,723
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	319,058	254,187	428,163
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	3,143,244	4,168,903	4,451,614

回次	第55期 第2四半期 連結会計期間	第56期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	30.93	27.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は、以下のとおりであります。

### （車輻関連部品事業）

当第2四半期連結会計期間において、当社は平成24年7月25日にアセアン地域において、自動車部品需要への対応及び海外事業の一層の拡大を図ることを目的としてピーティー ムロテック インドネシアを設立し、連結子会社といたしました。

### （その他）

主要な関係会社における異動はありません。

この結果、平成24年9月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社6社により構成されることとなりました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについては重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復傾向にあるものの依然として財政問題や雇用環境は厳しく、欧州諸国では財政危機により緊縮財政が続き、中国においても欧州向けの輸出が減少するなど成長率が当初見通しを下回り、全体として減速傾向にあり、景気の下振れが懸念されております。国内経済は、震災からの復興需要や景気刺激策等の効果により景気回復の兆しが見られましたが、恒常的な円高による輸出の減少、電力の値上げによるコスト増、補助金の終了、中国の地政学的リスクの高まりと減産の影響など、日本企業を取り巻く経済環境は依然として不透明な状態が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第2四半期連結累計期間の状況は、国内販売台数は2,590千台（前年同期比33.5%増）、輸出台数は2,367千台（前年同期比19.4%増）、結果国内生産台数は4,906千台（前年同期比25.7%増）となり、エコカー補助金や復興需要の効果により底上げされたものの、第1四半期よりも減速傾向となりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は7,849百万円（前年同期比13.7%増）となりました。エコカーを中心とした完成車メーカー向けの部品販売の増加と、輸出向けを中心とした部品メーカー向けの売上増により、9月に中国の減産等の影響は受けましたが、売上高は増加いたしました。損益につきましては、営業利益は604百万円（前年同期比11.1%増）、円高による利益押下げ要因もありましたが、経常利益は546百万円（前年同期比18.2%増）、四半期純利益は337百万円（前年同期比25.3%増）と増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 車輛関連部品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、9月に中国の減産の影響は受けましたが、震災からの復興需要及びエコカー補助金により、国内の自動車部品の売上や好調な新興国輸出向けを中心に環境対応車関連部品等の売上が増加し、当事業の売上高は7,545百万円（前年同期比14.6%増）と増収となりました。

#### その他

当第2四半期連結累計期間におきましては、日本及び北米市場の消費は回復基調にあるものの住宅市場は依然厳しく、主要販売製品の連続ねじ締め機等の売上が減少し、その他の売上高は303百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、282百万円減少し4,168百万円（前連結会計年度末比6.4%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は556百万円（前年同四半期は47百万円の流入）となりました。これは仕入債務の減少額253百万円、未払金の減少額77百万円、法人税等の支払額359百万円などの資金の流出があったものの、税金等調整前四半期純利益532百万円、減価償却費356百万円、売上債権の減少額303百万円、たな卸資産の減少額76百万円などの資金の流入があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は569百万円（前年同四半期比27.4%増）となりました。これは投資有価証券の償還による収入50百万円などの資金の流入があったものの、有形固定資産の取得による支出601百万円などの資金の流出があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は254百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。これは長期借入れによる収入400百万円などの資金の流入があったものの、短期借入金の減少99百万円、長期借入金の返済による支出410百万円、配当金の支払額123百万円などの資金の流出があったことによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は10百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,711,000
計	23,711,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,546,200	6,546,200	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,546,200	6,546,200	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		6,546,200		1,095,260		895,150

(6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社インテレチュアル	東京都世田谷区成城4-22-29	1,491	22.77
室 信子	東京都世田谷区	443	6.77
室 義一郎	栃木県宇都宮市	319	4.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	300	4.58
ムロ社員持株会	東京都世田谷区上野毛1-4-10	220	3.36
ムロコーポレーション協力企業持株 会	栃木県那須烏山市南1-12-25	211	3.23
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	200	3.05
株式会社みずほ銀行(常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会 社)	東京都千代田区内幸町1-1-5 (東京都中央区晴海1-8-12)	188	2.87
烏山信用金庫	栃木県那須烏山市中央2-4-17	144	2.19
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(三井住友信託銀行再信託 分・トヨタ自動車株式会社退職給付 信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	144	2.19
計		3,662	55.94

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式359千株(発行済株式総数に対する比率5.49%)があります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 359,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,185,900	61,859	-
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	6,546,200	-	-
総株主の議決権	-	61,859	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ムロコーポレーション	東京都世田谷区上野毛一丁目4番10号	359,800	-	359,800	5.49
計	-	359,800	-	359,800	5.49



## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,628,864	4,351,279
受取手形及び売掛金	1 3,985,402	1 3,688,592
製品	478,394	409,036
仕掛品	220,368	206,893
原材料及び貯蔵品	278,398	289,638
繰延税金資産	212,602	161,090
その他	155,822	114,022
貸倒引当金	2,019	4,988
流動資産合計	9,957,832	9,215,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,780,542	4,862,408
減価償却累計額	3,218,471	3,278,362
建物及び構築物(純額)	1,562,070	1,584,045
機械装置及び運搬具	8,464,625	8,682,492
減価償却累計額	7,202,415	7,325,699
機械装置及び運搬具(純額)	1,262,210	1,356,793
土地	1,397,872	1,398,999
建設仮勘定	408,798	437,353
その他	4,291,503	4,391,284
減価償却累計額	4,033,170	4,080,931
その他(純額)	258,332	310,352
有形固定資産合計	4,889,284	5,087,543
無形固定資産	111,097	115,060
投資その他の資産		
投資有価証券	614,103	513,927
長期貸付金	44,087	6,473
繰延税金資産	250,149	262,304
その他	300,294	287,502
貸倒引当金	23,049	23,225
投資その他の資産合計	1,185,586	1,046,982
固定資産合計	6,185,969	6,249,586
資産合計	16,143,801	15,465,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 2,981,335	1 2,731,550
短期借入金	300,000	206,613
1年内返済予定の長期借入金	870,000	470,000
未払金	815,714	773,827
未払法人税等	364,841	138,844
賞与引当金	353,730	281,480
役員賞与引当金	32,600	22,916
その他	1 576,557	1 414,393
流動負債合計	6,294,778	5,039,627
固定負債		
長期借入金	580,000	973,241
退職給付引当金	364,460	349,834
役員退職慰労引当金	314,166	318,596
その他	81,083	73,389
固定負債合計	1,339,710	1,715,062
負債合計	7,634,489	6,754,689
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	6,879,170	7,091,121
自己株式	182,442	182,442
株主資本合計	8,696,114	8,908,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,052	71,678
為替換算調整勘定	283,854	269,281
その他の包括利益累計額合計	186,801	197,603
純資産合計	8,509,312	8,710,461
負債純資産合計	16,143,801	15,465,151

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,904,334	7,849,555
売上原価	5,460,635	6,287,564
売上総利益	1,443,698	1,561,990
販売費及び一般管理費		
運搬費	192,862	214,813
役員退職慰労引当金繰入額	13,108	13,335
給料及び賞与	206,930	211,887
賞与引当金繰入額	36,918	48,127
役員賞与引当金繰入額	20,250	22,916
退職給付引当金繰入額	12,400	13,537
減価償却費	16,544	22,830
貸倒引当金繰入額	2,932	516
その他	403,476	410,755
販売費及び一般管理費合計	899,557	957,687
営業利益	544,140	604,302
営業外収益		
受取利息	2,446	2,021
受取配当金	6,718	8,138
その他	34,049	22,399
営業外収益合計	43,214	32,559
営業外費用		
支払利息	17,043	8,168
為替差損	106,563	80,475
その他	1,479	1,884
営業外費用合計	125,086	90,528
経常利益	462,269	546,333
特別利益		
固定資産売却益	-	50
特別利益合計	-	50
特別損失		
固定資産除却損	13,427	797
投資有価証券評価損	684	13,212
その他	2,183	-
特別損失合計	16,295	14,010
税金等調整前四半期純利益	445,974	532,373
法人税、住民税及び事業税	130,208	138,110
法人税等調整額	46,462	56,714
法人税等合計	176,671	194,825
少数株主損益調整前四半期純利益	269,302	337,548
四半期純利益	269,302	337,548

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	269,302	337,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,541	25,373
為替換算調整勘定	10,926	14,572
その他の包括利益合計	7,615	10,801
四半期包括利益	261,687	326,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261,687	326,747
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	445,974	532,373
減価償却費	383,396	356,104
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,781	3,145
賞与引当金の増減額(は減少)	67,205	72,249
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,250	9,683
災害損失引当金の増減額(は減少)	37,814	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,797	14,625
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,042	4,430
受取利息及び受取配当金	9,165	10,159
支払利息	17,043	8,168
為替差損益(は益)	87,882	62,119
固定資産除却損	13,427	797
投資有価証券評価損益(は益)	684	13,212
売上債権の増減額(は増加)	490,836	303,153
たな卸資産の増減額(は増加)	65,085	76,075
仕入債務の増減額(は減少)	32,431	253,892
未払金の増減額(は減少)	7,334	77,072
その他	43,476	8,843
小計	379,974	913,055
利息及び配当金の受取額	9,132	8,781
利息の支払額	18,780	6,677
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	323,293	359,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,033	556,139
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	53,035	20,377
定期預金の払戻による収入	38,471	15,600
有形固定資産の取得による支出	334,211	601,805
無形固定資産の取得による支出	3,284	18,413
投資有価証券の取得による支出	106,931	4,564
投資有価証券の償還による収入	-	50,000
その他	12,395	10,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	446,596	569,168
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	99,000
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	206,528	410,000
配当金の支払額	92,622	123,117
リース債務の返済による支出	19,908	22,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	319,058	254,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,005	15,493
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	760,626	282,710
現金及び現金同等物の期首残高	3,903,871	4,451,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,143,244	1 4,168,903

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結会計期間より、ピーティーマロテックインドネシアを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更が当第2四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
流動資産		
受取手形	30,288千円	26,976千円
流動負債		
支払手形	126,927千円	131,015千円
その他	36,994	19,687

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	3,315,708千円	4,351,279千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	172,463	182,375
現金及び現金同等物	3,143,244	4,168,903

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	92,794	15	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	123,726	20	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車輜関連部品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	6,582,116	322,218	6,904,334	-	6,904,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,582,116	322,218	6,904,334	-	6,904,334
セグメント利益	824,497	30,203	854,700	310,559	544,140

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額 310,559千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車輜関連部品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,545,885	303,670	7,849,555	-	7,849,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,545,885	303,670	7,849,555	-	7,849,555
セグメント利益	889,187	25,117	914,305	310,002	604,302

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額 310,002千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	43円53銭	54円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	269,302	337,548
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	269,302	337,548
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,186	6,186

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

株式会社 ムロコーポレーション  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大中 康宏 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	越智 慶太 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水野 博嗣 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ムロコーポレーションの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ムロコーポレーション及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。